

【エクアドル内政:2015年10月】

1. 内政

(1) 閣僚の交替

(ア) コレア大統領は、15日付大統領令第800号により新たに生産・雇用・競争性調整大臣，国家行政庁長官，国家企画開発庁長官，観光大臣（代理）を任命したところ，辞任した閣僚および新閣僚の氏名は以下のとおり。

(イ) 辞任した閣僚

ナタリー・セリ・スアレス生産・雇用・競争性調整大臣

ビニシオ・アルバラード国家行政庁長官

パベル・ムニョス国家企画開発庁長官

サンドラ・ナランホ観光大臣

(ウ) 新閣僚

ビニシオ・アルバラード生産・雇用・競争性調整大臣

ペドロ・ソリーネス・チャコン国家行政庁長官

サンドラ・ナランホ国家企画開発庁長官

ダビッド・パラ・ボサノ観光大臣（代理）

(エ) アルバラード氏及びナランホ氏はそれぞれ国家行政庁長官，観光大臣からの閣内異動であり，前者はコレア大統領の側近中の側近であり，2007年1月～2013年6月及び2014年3月以降国家行政庁長官，2013年6月～2014年6月に観光大臣を務めた実力派として知られている。新国家行政庁長官となるソリーネス氏は過去に国家行政庁副長官，銀行・保険監督庁長官，民間企業監督庁長官，国家道徳委員長などを歴任している。

(2) ハビエル・ラソ氏の外務副大臣就任

2日付外務省プレスリリースにて，パティニーニョ外相の臨時休職中に外務大臣代理を務めていたハビエル・ラソ氏が，レオナルド・アリサガ氏に替わり外務副大臣の職を務めるとの発表があった。（パティニーニョ氏については9月21日付で外相に復帰。）

(3) エスピノサ教育大臣による教育デジタル・プラットフォーム「EDUCA ECUADOR」に関する発言

(ア) エスピノサ教育大臣は7日，エクアドルはラテンアメリカ地域で初となる教育デジタル・プラットフォームにより，包括的な教育システムの運営をする予定であると発表した。「EDUCA ECUADOR」と呼ばれるシステムにより，教育の質を向上すると共に，教育記録を一括して管理することで情報管理能力を向上し，経費削減にも繋がると説明

した。

(イ)また、アラウス知識・人的能力調整大臣は、エクアドルが技術及び製造業に特化した新たな中等教育課程を2016年5月にも開始すると発表した。

(4) コレア大統領の支持率

12日、政府系通信社「アンデス」及び政府系当地主要紙「エル・テレグラフォ」は、キトとグアヤキルにおける世論調査において、コレア大統領の政権運営について48.9%が「良い」、14.5%が「非常に良い」と答え、肯定的な評価をした人の割合は合計で63.4%となったと報じた。

2. 外交

(1) 在英エクアドル大使館に政治亡命中のアサンジ氏をめぐるエクアドルと英国とのやりとり

(ア)ウィキリークス創始者ジュリアン・アサンジ氏がエクアドルへの亡命求め2年10ヶ月に亘り在英エクアドル大使館に滞在している件について、イギリス政府は、エクアドルへの将来の協力計画を見直す構えであると示唆した。

(イ)これに対し、パティーニョ外相は記者会見において、「アサンジ氏は人権を完全に行使できない状態にあり、エクアドルはどんな強国によるいかなる脅しにも怯まない。」と述べた他、アサンジ氏が肩の痛み等の健康上の問題を抱えていること及び11月にはスウェーデンの司法関係者が同氏を訪問する予定であると明かした。

(2) パチェレ・チリ大統領のエクアドル訪問

(ア)15日、パチェレ・チリ大統領（ムニョス同国外相同行）がエクアドルを訪問し、コレア大統領と会談を行った。同首脳会談では、二国間協力、安全保障、防衛、文化、教育、鉱山業等の分野において11の合意がなされるなど重要な進展があり、コレア大統領は、その中でも特に、エクアドルの考古学文化財回復、刑務官の能力強化、チリにおけるエクアドルの資格及び学位認定に関する協定の重要性を強調した。

(イ)両国首脳は両国間の関係の重要性を確認し、CELACやUNASURなどの域内統合の進展を支援していくこと、地球温暖化などの地球規模課題の解決に向け協調していくことで一致した。

(ウ)パチェレ大統領は、保健及びイノベーション、スポーツ、住宅・都市計画、司法、安全保障における合意を達成するための閣僚間協力の重要性を強調し、「我々はこれ（閣僚間協力）が深化し、兄弟である両国間の協調関係が強化することを望む」と述べた。

(エ)コレア大統領は、自分（「コ」大統領）は常にラ米内の協調関係を促進し

ていくと述べた上で、「域内（ラ米）における如何なる衝突や不和も国際法によって平和的手段で解決されることを我々は望む」と述べ、チリとボリビア間の紛争の平和的解決を求めた。

（了）